

入間川地区中学校統廃合説明会報告

【対象：東中学校保護者】

- 1 開催日時
平成 24 年 4 月 21 日（土） 午後 2 時～午後 4 時 40 分
- 2 開催場所
東中学校 2 階会議室
- 3 参加者数
約 40 名
- 4 市職員（計 7 名）
生涯学習部長、次長兼教育総務課長、学校統廃合担当課長、前学校統廃合担当課長、
学校統廃合担当主任
学校教育部参事兼教育指導課長、学務課長
- 5 配布資料
 - ◆ 入間川地区の中学校の統廃合について
 - ◆ 入間川地区中学校統廃合検討協議会の検討状況について

————— 主な質疑応答及び意見要望 —————

統廃合検討協議会に関すること

- Q 東中学校の廃校は、あくまでも検討協議会で決まっただけなので、まだ覆せるということか。
- A 最終的には市議会の議決を得る必要がありますので、現時点では市として正式に決定しているわけではないというのは事実です。
- Q まだ東中学校廃校の方向性を変えることはできるのか。
- A 検討協議会で合意を得た方向性を軸に今後も議論を進めていく考えですが、皆様からいただいたご意見は検討協議会にお伝えします。
- Q これから小学校の PTA 関係者を検討協議会に入れるとのことだが、一度合意を得た東中学校の廃校が覆ることはありうるのか。
- A 一度合意を得られた事項が覆ることはないと考えています。
- Q 保護者から今日出てきた意見要望を取りまとめて、教育委員会に異議申し立てをすれば、東中学校の廃校を覆すことは可能なのか。

A 基本的に検討協議会で合意を得た事項については、重い意味を持つものであると受け止めています。

Q 検討協議会では、東中学校の耐震補強工事を行って中央中学校を廃校にするという意見は出なかったのか。

A そのようなご意見もありましたが、老朽度や経費などの観点を踏まえ、最終的には東中学校を統廃合する方向で合意が得られたものです。

Q 検討協議会の議事録をホームページに出してほしい。

A その方向で対応します。

Q 議事録は、誰の発言が分かるようにしてほしい。

A 委員の自由な発言を妨げない配慮もあり、発言者を実名にすることは考えていません。

Q 検討協議会や部会で決めてしまう前に、説明会やアンケートなど、まずは保護者の意見を聴くべき。

A アンケートなども時機を見て実施する予定です。

Q 東中学校のPTA関係者が検討協議会に参加しているといっても、自分の子どもが卒業すれば関係ないわけで、今の中学1年生や小学校の子どもたちの保護者を入れなければ意味がない。

A 検討協議会にご参加いただいた東中学校のPTAの方々は、代表の立場を踏まえ責任をもって発言しており、今日出てきているような厳しいご意見も頂戴しております。

- ◆ 統廃合に一番影響があると思われる小学校のPTA会長を検討協議会に入れずに、東中学校を統廃合の対象とした教育委員会のやり方には疑問を感じる。
- ◆ 統廃合に反対する可能性の高い小学校の保護者を検討協議会に入れないで決めようとしているのだから、保護者の意見を聴く姿勢がないとしか言いようがない。
- ◆ 利害が関係する保護者を入れずに東中学校の廃校を決めたのは、あまりにも乱暴で、作為的。
- ◆ 小学校のPTA関係者を入れると話がこじれるから入れなかったと、はっきり言えばいい。
- ◆ 検討協議会は、小学校のPTAを入れて一から議論し直すべきだ。
- ◆ 東中学校の統廃合は、実際に影響があると思われる保護者の全然知らないところで決められてしまった感がある。
- ◆ 検討協議会に出されている資料は、東中学校廃校ありきを前提に作られている。

耐震に関すること

Q 適正規模の東中学校が廃校になる理由は、耐震補強工事の費用など、結局は財政的な問題なのか。

A そういう側面も理由の一つとしてあります。

Q Is 値 0.3 未満の耐震性の低い校舎にはスリット工事を施しているというが、大きな地震には耐えられないはずだ。

A 確かに文部科学省の基準は満たしていませんが、直ちに倒壊するというものでもないという認識は持っています。

- ◆ 耐震補強しなかったことで子どもの命が失われたとしたら、市はどう責任を取るつもりなのか。
- ◆ 耐震補強工事を先送りにしたということは、子どもの命よりお金の方が大事ということだ。
- ◆ 東中学校より新しい入間川中学校の耐震補強工事を先に実施しているのだから、最初から東中学校を廃校にしようとしていたとしか思えない。
- ◆ 西中学校でできた耐震補強工事を東中学校でできないはずはない。
- ◆ 同じ狭山市の生徒なのに、一方で耐震性があって冷暖房も完備されている学校に通えている生徒がいるというのは不公平だ。

学区に関すること

Q 統廃合しなくても、既存の通学区を編成し直すことで全ての学校を適正規模にすることはできないのか。

A 通学距離の視点もありますが、全市的に小規模校化が進む状況のなか、通学区の再編成だけで規模の適正化を図ることは難しいと考えています。

Q これから学区を決めるにあたり、保護者の意見を反映させる機会はないのか。

A 部会には小学校の保護者にも出席していただく予定ですし、今後は小学校でも保護者説明会を開催するなどして意見を吸い上げていきたいと考えています。

Q 通学路における危険な箇所は整備してほしい。

A 今後の検討協議会や部会のなかでもご指摘があると思いますので、それらについては最大限改善を図っていききたいと考えています。

統合の時期に関すること

Q いつまでに統合しなければならないというのはあるのか。

A 国は平成 27 年度までに学校の耐震化を完了させる方針を示していますので、その時期が統合のリミットと考えています。

- ◆ 自分の子どもは中学 1 年生なので、正直言えば平成 26 年には統合してもらいたくないが、耐震のことを考えれば、統合はなるべく早い方がいいという思いもある。
- ◆ 狭山台中学校などに進学できるエリアもあるので、学区や統合の時期を決め、それらを情報提供するタイミングには留意してほしい。

その他

Q 東中学校は冷暖房工事をしないのか。

A 計画的には平成 26 年度に工事を予定していますが、統廃合の問題がありますので、現時点で実施の有無については明確には答えられません。

Q 最後は中学 3 年生だけ残るといったような東中学校の終わらせ方はあるのか。

A そのような形は考えていません。

Q 現在の小学 6 年生は東中学校には入学できないと聞いているが…。

A そういうことはありません。

Q 「東中学校」という名前だけでも残すことは可能なのか。

A 現時点では何とも言えませんが、必要に応じて検討協議会で論議してもらうことになるかと思えます。

Q 避難場所にもなっている東中学校の建物は壊すことになるのか。

A 跡地利用の計画は白紙の状態です。

Q 中央中学校は、将来的に老人ホームにする前提で建てたと噂では聞いているが…。

A あくまでも噂であり、そのような事実はありません。

- ◆ 保護者説明会には、事務方ではなく決定権を持っている人が出てくるべきだ。
- ◆ 財政的に厳しいから東中学校を廃校にしますとはっきり言ってもらった方が、保護者も納得する。
- ◆ 予算を理由に古いものをなくして新しいものを残すというのも杜撰な考え方だ。
- ◆ 中央中学校を学校ではなく別の用途に利用することで、東中学校を整備するという考え方もあったのではないか。
- ◆ 親としては入学した学校で卒業してほしいという思いはある。
- ◆ 学校が途中で変わる不安は当然ある。

- ◆ 市で決まった計画は、きっと誰も動かさないものだと思うので、もっとしっかり説明してもらえれば、保護者も納得する部分はあると思う。
- ◆ 受験を控えた中学3年生で学校が変わった時のフォローを如何にするかが重要だと思う。
- ◆ 今までの学校では部活でレギュラーだったのに、新しい学校ではレギュラーになれなかったとか、些細な事かもしれないが、子供たちにとって大事なことはたくさんある。
- ◆ 東中学校に対する子ども達の強い思いを解ってほしいし、そういう気持ちは大事にしてあげてほしい。
- ◆ 統廃合は皆が納得できるような形で丁寧に進めていってほしい。
- ◆ 保護者の不信感を払拭するためにも、今後も説明会を開くなどして丁寧に答えてもらいたい。
- ◆ 情報はホームページだけでなく書面でも出してほしい。